

○ 6月3日(土) 曇り 後 雨

芦別へ移動 ・ カナディアンワールドを見に

今年の北海道は、山や花だけでなく、芦別にあるカナディアンワールドと云う公園を見ることも目的の一つだった。このカナディアンワールドは、カナダのプリンスエドワード島が舞台となった小説『赤毛のアン』の世界を再現しようと、1990年(平成2年)にテーマパーク「カナディアンワールド」として開園した。開園時にはプリンス・エドワード島にあるものを忠実に再現し「赤毛のアンの家・グリーンゲイブルズ」や「リンド夫人の家」、「郵便局」などが整備され、「カナダをテーマとしたものでは日本最大のテーマパーク」とされていた。しかし期待したほど客足が伸びず、10年持たずに閉園となった。施設は芦別市が公園として管理したが、巨額な維持費のため芦別市も維持しきれず2019年(平成31年)閉園した。翌年有志が集まり「カナディアンワールド振興会」が結成され、2021年(令和3年)からは、4月下旬~10月下旬の土日祝限定で開園するようになった。私は3年前にカナダのプリンスエドワード島へ行き、本場の「赤毛のアンの家」など見てきたので、今度は日本のカナディアンワールドでもう一度「赤毛のアンの世界」を見てみたいと思った。

一昨夜、昨夜と二泊した「道の駅・三石」

4時半起床。昨夜中車の屋根を叩いてうるさかった雨も上がって薄日が差している。気温は12℃、少々寒い。今日は、土日祝日しか開園しない芦別のカナディアンワールドを明日の日曜日に見るために、芦別まで移動する。北海道は今日からしばらく天気が悪くなり雨が続くとの予報だが、幸い天気は悪くない。

道の駅の裏側に、高さ10m位の築山があり、丸太で階段が作ってあって上まで登れる。以前来た時に登って見て何もなかった記憶がある。早朝の散歩で今回も登ってみた。頂上は草付きの小さな広場で、特に何もない。展望が開け、道の駅の全貌と太平洋が望まれる。



↑蔵三(温泉、ホテル、レストラン)

↑太平洋

↑道の駅・三石

ゆっくり朝食をとって8時前に芦別へ向けて出発した。車中泊の車はみんな出かけてしまい、もう1台も無い。

太平洋の海岸線を走る国道235号線(浦河国道)を北上し、日高富川で右折し海から離れ、沙流川に沿って国道237号線を日高へ向けて走る。浦河国道は、海からの風が強くて海水が舞い上がり、まるで霧がかかったような状態の中を走ってきた。天候が下り坂だなと実感した。

沙流川の途中には、二風谷コタンがありアイヌ文化博物館などがあるが、以前ゆっくり見て回ったことがあるので今回は通過した。さらに少し走ると幌尻岳登山口と看板が出ていて、豊糠方面への道が分かれ幌尻岳へと入ってゆく。



二風谷コタン

看板を右手に見て少し北上すると日高で、10時半に「道の駅・日高」に到着した。この駅は何回も来ているが、トイレに寄るくらいで、ゆっくり滞在したことはなく、もちろん泊まったことも無い。今回は時間に余裕があるので、ゆっくり2時間以上も滞在した。施設も充実していてなかなか良い駅だ。

買い物をしたり昼食を摂ったりしていたら、ポツポツ雨が降り出した。と思ったらすぐに大雨になった。あわてて車に退避し、先を急ぐことにした。



道の駅・日高

ここからは国道237号線を富良野まで、その先は国道38号線に入って芦別まで、ほぼ一直線に北上する。雨は北へ行くほど強くなり、途中雨で前も見えなくなるくらいのところもあった。雨の道は安全第一、大型トラックの後についてゆっくり走った。結局芦別に着くまで大雨の中を走り、何とか14時過ぎに無事「道の駅・芦別」に到着した。この駅に来たのは初めてかな？

なかなか大きくて立派な駅だ。土曜日と云うこともあるのか、この雨の中、車が満車状態だ。とにかく雨が強いので駅の建屋

の中に逃げ込んだ。



道の駅・芦別



車中泊準備

4時頃になってやっと小降りになり、5時頃には雨も止み人も動き始めて、駐車場の車もかなり少なくなった。今日はここで車中泊なので車を適当な場所に移動して車中泊の準備をした。車内で夕食を摂って8時過ぎには眠りについた。今日は大雨の中の運転でかなり疲れた。

○ 6月4日(日) カナディアンワールドを見てから恵庭へ

5時起床。天気は曇、時々晴れ間も見える。今日は天気が持つかなと期待。気温は9℃で寒い。周りには車中泊と思われる車が10数台止まっている。

今日はこれからすぐ近くにある「カナディアンワールド」へ行くのだが、開園時間が10時なのでゆっくり朝食を摂り、日記を書いたり、車内を整理したり、道の駅でお土産を買ったりして時間を潰した。外は曇りだが時々小雨がぱらついたりしている。

10時前に道の駅を出ようと思ったら、自衛隊の車がどんどん入ってきて、広い駐車場に整然と駐車を始めた。

さすが北海道、道の駅が自衛隊の朝礼の場なのか！？

しばらくこの異様な光景を眺めてから道の駅を出てカナディアンワールドへ向かった。



朝 自衛隊車両が集結

山道を15分ほど走ったらカナディアンワールドの入り口に付いた。うっかりすると見落としてしまいそうで、昔はテーマパークだったとは思いつかないほど貧弱な入り口だ。朝早いせいもあるのか



放置された遊覧自動車

まだ誰も来ていない。さらに入口の門は無く、昔は子供たちを乗せて走っていたろう錆びた遊覧自動車がパンクしたまま放置してあり、小屋が一つぽつんと建っているだけで係員がどこにも見当たらない。どうやって入園したらいいのかわからない。小屋に入ったら、机の上

に小さな箱が置いてあり「車で入る人は500円入れてください」と書いてある。歩いて入る人は無料らしい。とりあえず500円入れて小屋を出て見ると、小屋の横に道があり、どうもここを通過して入園するらしい。

ここは広い谷間を一周するように道が作っており、その内側にカナダの街並みや、アンの小説に出てくる種々の建物などが点在して作ってある。天気が良ければ一日のんびり遊びながら回れるし、急ぐ人は車で回りながら見学できるように作ってある。

入園したら正面奥にシンボルタワーが建っていて、「左周りで一周」の案内が立っていたので左方向に走った。周遊道路の要所要所に駐車スペースが作ってある。まず最初のスペースに止めて車を降した。谷の下の方にアンの家「グリーンゲールズ」が見える。雨は降っていないので手ぶらでグリーンゲールズへと下って行った。

今回のカナディアンワールドの目的は、まずグリーンゲールズが見たいことだ。カナディアンワールドでも公園の観光の目玉としてグリーンゲールズだけは保全に力を入れている。外壁はしっかり塗装し、家の中もカナダのグリーンゲールズを忠実に再現して調度品なども良く手入れして展示してある。



貧弱な入り口の看板



シンボルタワー



グリーンゲールズ

玄関を入ると、内装や壁の展示品などがカナダで見てきたグリーンゲールズと同じでカナダに居るような錯覚を覚えた。お友達らしい若い女性2人が、展示されている衣装を着たりして楽しんでいた。一階の客間やキッチン、マシュウの部屋、二階のアンの部屋や、裁縫室、マリラの部屋などカナダのオリジナルが忠実に再現されていて、再びカナダに来ているような楽しいひと時を過ごすことが出来た。



玄関の展示品



客間



キッチン



マシュウの部屋



アンの部屋



裁縫室



マリラの部屋

グリーンゲールズをゆっくり楽しんで外に出ると、外は雨が降っている。傘を満たずに来たので、仕方なく濡れながら車に戻った。しばらく走ると谷底に池とカナダの街並みが見えたのでそこまで行ってみた。雨はかなり強く降り、やむ気配はない。傘をさして小さな街並みを歩いた。テーマパーク時代は楽しい街並みだっただろうが、現在は手入れもされずに放置されほとんどが戸閉されていて入れない。中に数軒、展示室やお土産品や軽食を提供する家がオープンしていたが、今日は雨のせいかな誰もいない。



下の方に街並みが見える



古いカナダの街並み

それでも雨の降りしきる中いろいろ見て回りカナディアンワールドを出たのは12時を回っていた。天気が良かったら、自然豊かで十分カナダの雰囲気を楽しみながら一日遊べる良い公園だと思う。

とりあえず道の駅・芦別へ戻り、レストランでこの名物「ガタタンラーメン」を食べた。

これは「あんかけ五目ラーメン」だな。

さてこれで今回の北海道の旅の目的は全て消化した。あとは明後日(6日)苫小牧からフェリーで仙台へ渡り南蔵王の不忘山に登りユキワリコザクラを見る予定だ。今日はこれから、十数年前に北海道の旅を始めて最初に車中泊した懐かしい道の駅・三笠に泊まろうと思う。ここはリニューアルして立派になり温泉もできたようだ。前来た時は温泉が無く、岩見沢の銭湯まで風呂に入りに行った思い出がある。

13時過ぎに雨の芦別を後にして、ナビの指示のまま三笠を目指した。天気は南へ進むにつれてだんだん回復し、三笠に着いた頃はすっかり上がっていた。ただ日曜日だからだろうか、道の駅・三笠は車を止めるところもないほど車が溢れていて、温泉の駐車場もいっぱい止めるところが無い。おまけに入浴代が900円だと！三笠をあきらめて、私の好きな恵庭まで行くことにした。ここから約60kmでそんなに遠くない。

国道12号線で江別から道道46号線(江別恵庭線)に入り南下して4時前に恵庭に到着した。まず行きつけの温泉ラフォレへ向かった。もう天気はすっかり回復し日が射している。ラフォレも満車状態で一番奥にやっと止めて入浴した。安いい露天風呂もいいし、私の愛用の温泉でゆっくりと今日の疲れを癒した。

今日の宿は道の駅・恵庭で車中泊。ここは北海道の旅では必ず泊まっているわたしのホームグラウンドだ。

これで北海道の予定は全て終わり明後日は北海道を離れ仙台へ向かう。

夕食を済ませ、明日、明後日をどうやって過ごそうかといろいろ考えながら8時過ぎに眠りについた。